

「マンガ&図解新しい紙幣の物語」

Gakken
所蔵館 興



これまで紙幣の肖像になった人物は政治家や文化人、天皇や朝廷に尽くした忠臣。小説家で初めて紙幣に登場したのは夏目漱石で、ある意味センセーショナルだったのかも！？

「坊っちゃん」等が有名になったのは海外で翻訳されたのが理由だけれど漱石の作家活動はわずか10年。マンガで読むと漱石が身近に感じられるよ。

LEAF

NODA CITY LIBRARY YOUNG ADULT CORNER
No. 80

文豪わーるとど

文豪が残したことを探しにいこう

「スマホ片手に文学入門」

小池 陽慈 著
笠間書院
所蔵館 興



「クラムボンはわらったよ」「クラムボンがぷかぷかわらったよ」という繰り返しの冒頭のフレーズが印象的な宮沢賢治著『やまなし』って知ってる？ 小学校の国語の教科書に載っていたよ。

この本は『やまなし』等をウィキペディアやコトバンクを活用することによって次の読書でキーワードを検索してみようかなと思わせてくれるよ。

図書館のHPでも、「LEAF」が見られるよ！
投稿フォームもあるから、
中学生・高校生におすすめしたい本があったら、教えてね。



問合せ先

興風図書館 7123-7611
南図書館 7125-7981
北図書館 7129-8811
せきやど図書館 7198-4946

発行：野田市立図書館YAサービス 2025. 1

「名著奇変」

終 サナカ 著 他5名
飛鳥新社
所蔵館 せ



『銀河鉄道の夜』『走れメロス』『山月記』などの名作小説を、エッセンスだけ残して現代の物語にアレンジしたホラーミステリー作品集。知っている話であれば読みながらどう改変されているのか楽しめるし、知らない話ならこの本を読んでから元の作品にあたることで二重に楽しめる。

文章も現代風になっているので、普段小説を読み慣れていない人にこそおすすめ。



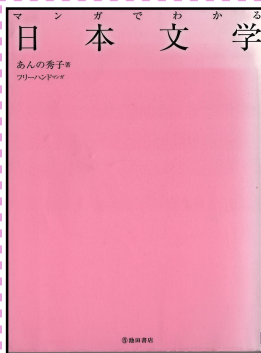
「作家の家」

コロナ・ブックス編集部 編
平凡社
所蔵館 北

小説家、アーティスト、写真家、建築家たちが暮らした住まいを写真と手描きの間取り図付きで紹介。

建築プランや暮らしについてのエピソードからは、作家の人となりを感じられる。

個性あふれる書斎や愛用品の数々を見ているだけでも楽しい。こだわりの家具や間取りのアイデアを参考にしてみてもいい？



「マンガでわかる日本文学」
あんの 秀子 著
池田書店
所蔵館 興 せ

文学って苦手なんだよね、でも勉強で必要だし……という人にはマンガから読むのがおすすめ。

「くらしと文化」「宗教・倫理」などジャンルごとに分類されていて、近代の時代背景がよくわかる。それでも硬いテーマは無理！ という人には「恋愛」「ファンタジー、異世界」など親しみやすいテーマから選ぶと苦手意識も変わるかも！？

「名著のツボ 賢人たちが推す！最強ブックガイド」
石井 千湖 著
文藝春秋



おすすめの古典的名著を現代の賢人(そのジャンルに詳しい有識者)たちが解説するブックガイド。単なるあらすじの紹介ではなく、読みどころ、本のツボが語られているので、その時々で、あなたが必要としている本を探することができる。このブックガイドが、あなたを支える大切な1冊と出会わせてくれるはず！



「恋する文豪」(日本文学編)
真山 知幸 監修
東京書籍
所蔵館 興

文豪の恋愛観とは！？有名作家の人生最後は知っている人も多いよね。でも、文豪と呼ばれる人にも私たちと同じような悩みや苦しみがあったとしたら。文豪の恋愛に焦点を当てて描かれたこの本は、恋愛マンガとしても満足できる内容になっている。人柄のわかるエピソード解説もあり、作家に興味を持ったら、作品を読んでもみるのもおすすめ。

「山月記」
中島 敦 著 ねこ助 絵
立東社
所蔵館 せ



高校教科書の定番小説であり、また人気漫画『文豪ストレイドッグス』の主役のモチーフとしても知名度の高い作品。優秀でプライドの高い美少年が挫折し虎へと変貌したことを友人に語る話で、自尊心と羞恥心という心の動きに言及し、多くの人の共感を呼ぶ名作。さらに本書は人気イラストレーターの美しい絵が付き、画集としてもお得な一冊となっている。



「文豪ナビ夏目漱石」
新潮文庫 編
新潮社
所蔵館 北 せ

「先生ったら、超弩(ど)級のロマンティストなのね。」三浦しをんによる印象的な表紙の言葉が目を引く読書ガイド。作品のイメージがカラー写真や図、チャートで紹介され、気分に合わせて読みたい作品を選べる。名場面の音読で文体のテンポのよさを味わい、漱石ファンの作家によるエッセイを読めば、新たな魅力を発見できるだろう。



「もし文豪たちが現代の文房具を試しに使ってみたら」
福島 慎子, 寺井 広樹 著
ごま書房新社 所蔵館 南

文具プランナーによる、文豪たちのための文房具紹介本。たとえば、極度の記録癖で、スクラップブックを多く残している江戸川乱歩には、ベタつかずシワなく貼れるスティックのりと、マスキングテープがオススメ。文豪それぞれのこだわりや、実際に気に入って使っていた文房具なども知ることができて、この本を読めば、文豪たちをもっと身近に感じられるはず！